

## 性感染症対策について

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(以下「感染症法」という)が施行されたことに伴い、性病予防法が廃止され、平成11年4月から感染症法に基づく対策となった。

### ア 五類感染症として規定

後天性免疫不全症候群、性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、梅毒及び淋菌感染症

### イ 特定感染症予防指針の策定

感染症法第11条及び施行規則第2条に基づき、特に総合的に予防のために施策を推進する必要がある疾患として特定感染症予防指針を作成し、公表する疾病として、後天性免疫不全症候群及びインフルエンザとともに性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、梅毒及び淋菌感染症が規定(性感染症に関する特定感染症予防指針は、平成12年2月2日厚生省告示第15号により、官報で公表)

※現在、エイズ・性感染症ワーキンググループにおいて、性感染症に関する特定感染症予防指針の見直しの検討を行っているところである。

### ウ 発生動向調査

- (ア) 後天性免疫不全症候群、梅毒  
感染症法第12条第1項第2号に基づき全数届出
- (イ) 性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症  
感染症法第14条第2項に基づき指定届出機関(定点)が届出

補助先: 都道府県、政令市、特別区

平成17年度予算額(案): 836, 822千円      16年度予算(792, 318千円)

事業内容: 感染症の発生動向を国へ報告するために要する経費であり当経費は感染症全体の経費のため性感染症のみの金額については、算出できない。

### エ 啓発普及

性感染症に関する啓発普及に必要な経費

平成17年度予算額(案): 7, 875千円      16年度予算(7, 875千円)

### オ 健康診断

性感染症に関する特定感染症予防指針に基づき、保健所等が実施した健康診断費については、特定感染症検査等事業において、国庫補助を行っている。

補助先: 都道府県、政令市、特別区

平成17年度予算額(案): 318, 164千円      16年度予算(320, 291千円)

事業内容: 都道府県、政令市及び特別区が保健所等で行う性感染症検査HIV相談・検査及び性感染症又はHIV抗体検査をする40歳以上の希望者に対して、HBs抗原検査、HCV抗体検査に対する補助。

# エイズ対策の概要

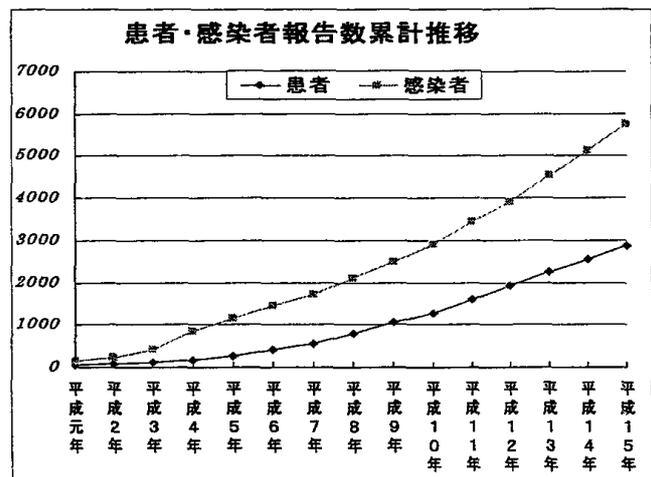
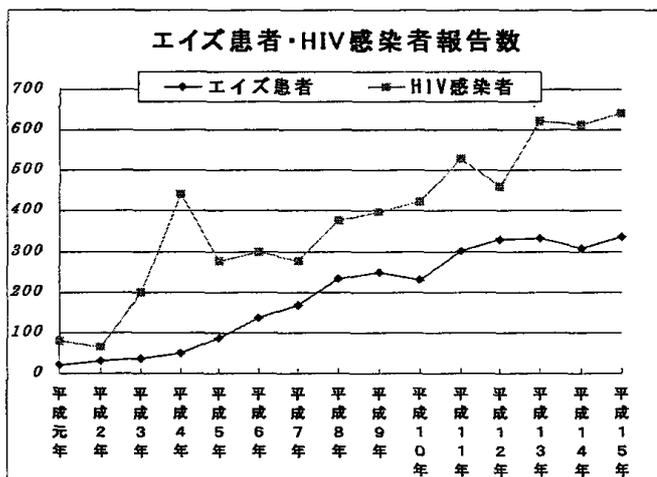
## I エイズの現状

### (ア) エイズの概要

- 発 見：1981年（昭和56年）にアメリカで初めて報告  
 原因ウイルス：ヒト免疫不全ウイルス Human Immunodeficiency Virus (HIV)  
 感染経路：①性的接触 ②血液媒介感染 ③母子感染  
 病 態：HIVに感染したCD4陽性リンパ球の破壊による免疫機能低下  
 症 状：カリニ肺炎やカポジ肉腫等の日和見疾患  
 治 療 法：1997年からエイズ発症を予防する効果の高い治療薬の多剤併用療法が導入され、生存率が飛躍的に改善されている。  
 届 出：感染症法に基づき、診断から7日以内に全数報告（5類感染症）

### (イ) 日本の現状

- a 患者・感染者累積報告件数（平成17年1月26日エイズ動向委員会報告）
- ・エイズ患者：3,257件
  - ・HIV感染者：6,527件
  - ・血液凝固因子製剤の投与に起因する患者・感染者数：1,434件
- b 近年の特徴
- ・感染が依然として拡大傾向。
  - ・首都圏を始めとする都市部に集中し、感染者は20～40代、患者は30代以上が主体。
  - ・感染者の95%以上は性的接触による感染（不明例を除く）。  
 特に国内における日本国籍男性の同性間性的接触による感染が急増している。
- ・平成15年の新規報告件数 エイズ患者 336件 HIV感染者 640件



### (ウ) 世界の状況

- a HIV感染者数：3,940万人  
 b 2004年の新規HIV感染者数：490万人  
 c 2004年のエイズによる死亡者数：310万人  
 [平成16年11月25日UNAIDS（国連合同エイズ計画）発表]  
 d 近年の特徴：患者、感染者の9割以上がアフリカ・アジアに集中し感染拡大が続いている。欧米先進国では感染拡大に歯止めがかかったとされる。

## Ⅱ 我が国におけるエイズ対策

現在、平成11年4月に施行された感染症法の規定により告示した「後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針（エイズ予防指針）」に基づいて対策を講じている。

本指針は、エイズに関し、国、地方自治体、医療関係者・患者組織を含むNGOがともに連携して、予防と医療に係る総合的施策を患者の人権を十分に尊重しつつ進めていくものである。

特に、感染の可能性が疫学的に懸念される特別の配慮を必要とする個別施策層（青少年、外国人、同性愛者、性風俗産業従事者及び利用者）に対して効果的な施策を行うこととしている。

### ○研究開発の推進

エイズ発症メカニズムの解明、治療法の開発などの研究を実施

（最近の主な研究成果等）

- ・多剤併用療法（HAART）によりHIV感染者の日和見感染症合併頻度と死亡率が低下した。
- ・HIVウイルス除去処理した精液を用いた体外受精により母児に感染させないことを可能にした。

### ○発生の予防及びまん延の防止

- ・正しい知識の普及啓発

厚生労働大臣を本部長とするエイズストップ作戦本部を設置し、政府公報を始めとするPR作戦を展開している。また、エイズ予防財団では全国規模での予防啓発を実施し、地方自治体においては地域の実情に合わせたきめ細かなエイズ対策を行っている。

- ・保健所における匿名無料検査・相談体制の確立

プライバシー保護の観点から保健所に個室相談室を設置し、安心して相談が受けられる体制を整備している。

また、保健所における平日夜間や土日休日のHIV抗体検査の実施については、必ずしも十分な取組がなされていないので、迅速検査の導入など利便性の高い検査体制の推進を図っているところである。

### ○医療の確保・提供

- ・エイズ診療の基本的な考え方はどの医療機関でも機能に応じて患者を受け入れることであり、患者・感染者が安心して医療を受けることができる体制を整備している。

身近な医療機関

- 一般的な診療

エイズ治療拠点病院（全国47都道府県370機関）

- 総合的・専門的医療

地方ブロック拠点病院（全国8ブロック14機関）

- より専門的医療、地域格差の是正

エイズ治療・研究開発センター（国立国際医療センター内）

- 最新の医療の提供、診断・治療法開発のための臨床研究、医療情報の提供とブロック拠点病院・拠点病院との連携、各種研修



H16 年度厚労省科研費 新興・再興感染症研究事業「性感染症の効果的な蔓延防止に関する研究」

性感染症および HIV 感染症に関する「特定感染症予防指針」に基づく取り組み状況の  
アンケート結果 概要

2005.02 報告資料

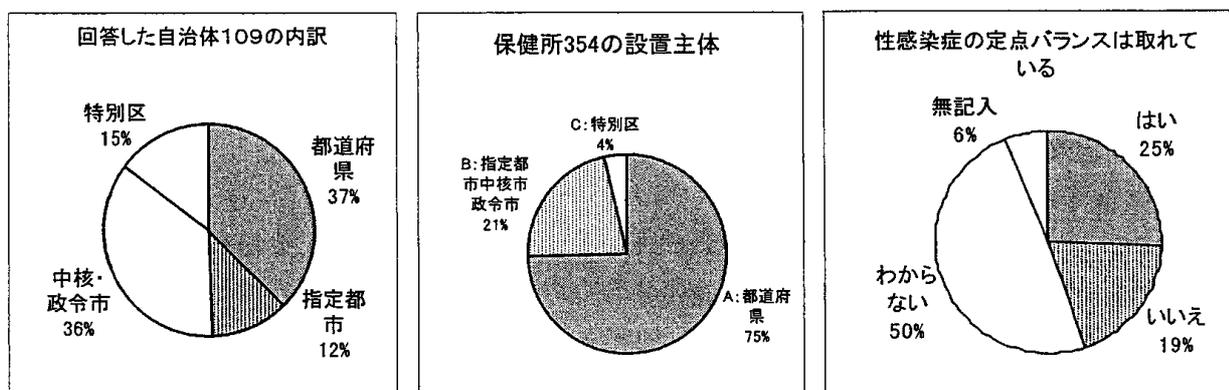
主任研究者 小野寺昭一(慈恵医大教授) 2004.12 月まとめ

研究協力者 白井千香(神戸市保健所) 中瀬克己(岡山市保健所)

目的：特定感染症予防指針策定 5 年後の見直しとして、各自治体において、指針に沿った対策をどのように実施しているか現状を調べ、指針の評価の一助とする。HIV 感染症を含めた性感染症対策について、各自治体における予防対策の進捗状況と課題を明らかにすると共に、それぞれの予防指針を再検討するために、国へ提言する資料とする。

方法：全国の自治体 127 及び保健所 576、地方感染症情報センターを含む地方衛生研究所 75 に質問項目を記載したアンケート用紙を H16 年 8 月に郵送、回収し集計した。

結果：回答数 自治体 109,保健所 354,地方衛生研究所 46 (有効回答率 都道府県：本庁 87% 保健所 61%,指定都市：本庁 100%保健所 58%,中核・政令市 89%特別区 70%,地衛研 48%)



性感染症と HIV 感染症に共通する特定感染症予防指針の各項目における対策の現状

1. **原因の究明** について

- ・ HIV 感染症について、保健所の 63%は年間の報告数が 0 件、都道府県単位では 45%が 5 件以内、21 件を超えるのは 5 保健所、13 自治体、と報告は一部の地域に集中化している。
- ・ 発生動向調査の統計・分析をしている保健所は 15%、そのほかは本庁や地方感染症情報センターがその役割を担っているが、衛生研究所では業務外との回答も 2 割あった。定点の設定は都道府県単位で行っており、6 割の自治体で的確な推定のため設定を考慮していたが、定点バランスは「わからない」が半数。発生動向調査以外の独自調査は 6 自治体のみ。
- ・ 発生動向調査結果について、半数以上で施策に活用、8 割以上で情報提供していたが、性感染症よりエイズに関する方が、既存資料もあり健康教育などで提供の機会が多かった。

2. **発生の予防および蔓延の防止** について

- ・ 普及啓発は、学校への講師派遣が 8~9 割 (ただし年 1~数回が限度)、指導者研修が 7 割、若者・女性・個別施策層や外国人への取り組みは少なかった。
- ・ 検査提供の機会は、保健所で実施しているのは HIV99%、梅毒・ウイルス性肝炎約 70%、性器クラミジア 45%、淋菌が 6%、平日昼間が多く平日夜間やイベント等特定日の検査は 2 割弱、保健所以外での検査は主に夜間、土日に HIV 対象に 19 自治体で実施していた。HIV

迅速検査は保健所の12%（48か所）、保健所以外では5自治体で実施していた。

- ・相談体制について、8割の保健所で職員研修実施、研修を受けた職員を性感染症・エイズ対策へ配置は7割、検査前後の相談体制整備は6割、職員の専任は4割（うち保健師9割）。

- ・コンドームの使用普及と配布は7割の保健所で実施、配布の機会は啓発イベントや学校での性教育、検査相談日等、受け手側へ抵抗のないよう配慮しているところもあった。

### 3. **医療の提供** について

- ・医療機関への診断・治療指針の普及について、15都道府県、2指定都市で実施、性感染症学会、エイズ学会作成のガイドラインをいずれも配布していたのは4自治体のみ。

- ・HIV感染症の医療について、保健所の経験した対応は、拠点病院へのHIV感染者の紹介35%、歯科産婦人科等他科受診の連携21%、在宅支援12%、保健医療と福祉サービス等の調整12%、そのほかは「経験なし」または「わからない」と医療への関わりは少ない。

### 4. **関係機関との連携強化** について

- ・性感染症対策とエイズ対策の連携は、保健所及び自治体の8~9割で実施。検査や相談、健康教育等で同時に対応していた。

- ・地域のネットワーク体制の構築やNGOとの連携は3割弱、患者家族向けの情報提供や心のケア、外国人や個別施策層へ関する医療の推進は2~6%で、献血時の注意(HIV検査目的をなくす血液の安全性確保)など日本赤十字社との連携は7%であった。

### 5. **研究開発の推進** について

- ・調査研究へは、保健所、自治体単位いずれも12%が関わっており、その半数（23件）は厚生労働省科学研究費による事業で、自治体独自の調査研究は9件であった。

### 6. **人権の尊重** について

- ・プライバシー保護のための相談窓口は、6割の保健所で設置

- ・差別偏見防止のための取り組みは、5割強で実施していた。

- ・差別事例の具体策は「実施あり」が3%（実数10保健所）、「経験なし」が78%

### 7. **保健所の機能強化** について

- ・国への要望は、発生動向調査の強化、予算の確保、厚労省と文科省との「統一した」指針、学校教育で性教育の強化、マスメディアへの働きかけ等が共通していた。

- ・エイズ・性感染症対策における機能強化の具体的な計画について、自治体単位では中核市・政令市・特別区の4割弱、保健所単位では2割弱で策定していた。

- ・都道府県が策定している感染症予防計画が、エイズ及び性感染症対策の立案に参考になると答えたのは半数に留まり、2割は「見ていない」と答えていた。

## 評価および課題

性感染症とHIV感染症対策はほぼ連携していたが、保健所では発生状況の把握は十分でなく、自治体は地域の現状を踏まえたSTI/HIV対策の実施に苦慮している。ただし、発生動向調査結果を利用した情報提供や学校での健康教育、コンドーム使用の推進等、一般施策は7~8割が関与しており、今後は取り組みの弱い若者・女性・個別施策層・外国人等への予防対策や患者・感染者に対する医療及び生活支援のための連携を総合的に推進すべきである。保健所の機能強化は人材・予算・組織に課題があり、国及び自治体のイニシアチブが重要と考える。

2. 集計結果

性感染症およびHIV感染症に関する「特定感染症予防指針」に基づく取り組み状況のアンケート

*回収率	(本庁回答分を含む)					合計
	県型保健所	指定都市*	中核市	政令市	特別区	
回答数	265	41	32	7	13	358
対象数	433	71	35	9	23	571
回収率	61.2%	57.7%	91.4%	77.8%	56.5%	62.7%

\*都市別回収率の内訳 右表

指定都市、中核市、政令市、特別区については、保健所・本庁一体型の自治体もあるため、回収率は保健所及び本庁を併せて計上した。

\*指定都市内各保健所の回収率

指定都市	対象	回答	回収率
仙台	5	4	80.0%
川崎	7	4	57.1%
横浜	18	9	50.0%
名古屋	16	10	62.5%
京都	11	2	18.2%
福岡	7	5	71.4%
他は各一保健所*	7	7	100.0%

\*札幌、千葉、さいたま、大阪、神戸、広島、北九州は一市一保健所

保健所用回答より

有効回答率=98.9% (354/358)

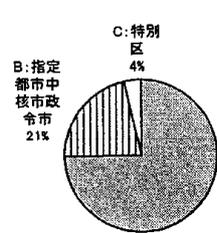
所属 (内訳)

A 県型保健所		B 指定都市中核市政令市		C 東京都特別区		合計	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
265	74.9%	76	21.5%	13	3.7%	354	100%

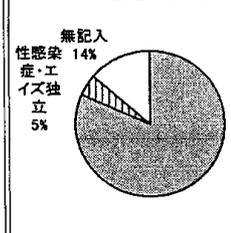
部署

1 感染症全般		2.STDエイズ対策独立		無記入		合計	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
289	81.6%	17	4.8%	48	13.6%	354	100%

保健所の設置主体



回答した部署



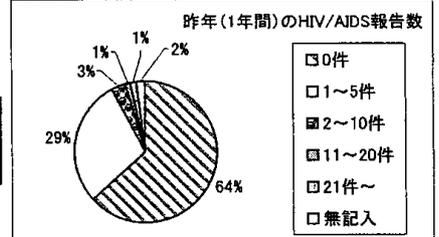
1. 原因の究明について

1) 貴保健所管内の昨年(H15年1~12月)のエイズHIV報告は...

① 0件		② 1~5件		③ 6~10件		④ 11~20件		⑤ 21件以上		無記入		合計	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
224	63.3%	102	28.8%	12	3.4%	4	1.1%	5	1.4%	7	2.0%	354	100%

2) 全数および定点報告の分担と分析内容(複数回答あり)

機関	保健所		本庁		地方感染症情報C		その他		合計	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
エイズ*	51	14.4%	134	37.9%	195	55.1%	12	3.4%	354	100%
性感染症	59	16.7%	119	33.6%	210	59.3%	14	4.0%	354	100%

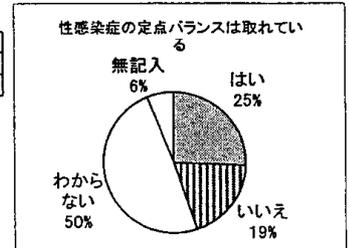


\*保健所で集計・分析をしているところについて

項目	性別	年齢階級別		経時的変化		個別施策層		その他		計			
		実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%		
エイズ*		44	86.3%	39	76.5%	17	33.3%	13	25.5%	4	7.8%	51	100%
性感染症		50	84.7%	47	79.7%	18	30.5%	4	6.8%	1	1.7%	59	100%

3) 現在の性感染症定点のバランス

よい		いいえ		わからない		無記入		合計	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
90	25.4%	68	19.2%	174	49.2%	22	6.2%	354	100%



4) 予防のための情報提供

はい		いいえ		無記入		合計	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
316	89.3%	36	10.2%	2	0.6%	354	100%

A 方法

	パンフレット作成		広報誌		自治体HP		健康教育		関係機関会議		その他		情報提供あり
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
エイズ*	75	23.7%	105	33.2%	141	44.6%	256	81.0%	115	36.4%	57	18.0%	316(100%)
性感染症	63	19.9%	75	23.7%	118	37.3%	232	73.4%	102	32.3%	64	20.3%	316(100%)

B 頻度

	年間		随時		その他		情報提供あり
	実数	%	実数	%	実数	%	
エイズ*	146	46.2%	169	53.5%	12	3.8%	316(100%)
性感染症	139	44.0%	154	48.7%	14	4.4%	316(100%)

2. 発生の予防および蔓延の防止について

1) 保健所で実施している検査

HIV		梅毒		性器クラミジア感染症		淋菌感染症		ウイルス性肝炎		その他		合計	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
349	98.6%	239	67.5%	160	45.2%	22	6.2%	264	74.6%	6	1.7%	354	100%

2) 検査実施について

A 実施日時と頻度

	平日 月~金		夜間 月~日		土日祝		特定日		イベント時		個別施策		計
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
エイズ*	339	97.1%	66	18.9%	7	2.0%	26	7.4%	36	10.3%	2	0.6%	349
性感染症	237	72.7%	45	13.8%	6	1.8%	15	4.6%	21	6.4%	2	0.6%	326*

\*何らかの性感染症検査をしている保健所数

B 実施可能な方法 (複数回答)  
エイズ

迅速検査		従来の抗体検査		検体郵送受付		NAT		合計	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
42	12.0%	315	90.3%	3	0.9%	4	1.1%	349	100%

性感染症

迅速検査		血中抗体検査		検体郵送受付		PCR		合計	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
9	2.8%	309	94.8%	2	0.6%	5	1.5%	326	100%

検査実施頻度

	平日	夜間
回答数	327(100%)	68(100%)
毎週	174(53.2%)	6(8.8%)
隔週	32(9.7%)	2(2.9%)
月1回	42(12.8%)	35(51.5%)
月2回	63(19.3%)	9(13.2%)
月3回	5(1.5%)	
月4回	9(2.7%)	
月5回	1(0.3%)	
月6回	1(0.3%)	

休日・特定日・イベント等 (回答数)

	平日	夜間
毎週	1	年5回 1
月1回	5	年8回 1
年1回	32	年12回 1
年2回	10	年22回 1
年3回	9	年24回 2
年4回	1	年48回 2

3) 保健所のHIV・性感染症相談

	はい		いいえ		無記入		合計	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
(1)研修	274	77.4%	75	21.2%	5	1.4%	354	100.0%
(2)配置	241	68.1%	105	29.7%	8	2.3%	354	100.0%
(3)専任	144	40.7%	189	53.4%	21	5.9%	354	100.0%

上記(3)で“はい”の場合、専任の職種

保健師		看護師		カウンセラー等心理職		医師		その他		合計	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
132	91.7%	15	10.4%	3	2.1%	67	46.5%	7	4.9%	144	100%

(4)相談に関して利用できる援助

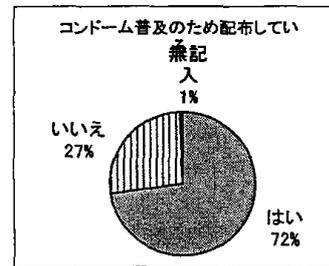
県エイズカウンセラー派遣		精神保健福祉センター		臨床心理士会の援助		その他		利用できる援助がない		無記入		合計	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
127	35.9%	45	12.7%	17	4.8%	67	18.9%	83	23.4%	44	12.4%	354	100.0%

(5)検査前後の相談

はい		いいえ		無記入		合計	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
207	58.5%	127	35.9%	20	5.6%	354	100.0%

4) コンドームの適切な使用普及のための配布

はい		いいえ		無記入		合計	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
258	72.9%	94	26.6%	2	0.6%	354	100.0%



上記で“はい”の場合

イベント時		学校の性教育		地域での健康教育		個別施策層		検査相談日に		その他		合計		*複数回答あり
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
153	59.3%	107	41.5%	14	5.4%	6	2.3%	98	38.0%	28	10.9%	258	100%	

5) 若年者や女性、個別施策層などへ実施していること(複数回答)

項目	はい		いいえ		無記入		合計 実数
	実数	%	実数	%	実数	%	
(1)学校への講師派遣	303	85.6%	48	13.6%	3	0.85%	354
(2)教職員・指導者への研修	151	42.7%	182	51.4%	21	5.93%	354
(3)ピアエデュケーション育成	65	18.4%	268	75.7%	21	6.02%	354
(4)女性や妊婦向け情報提供	47	13.3%	273	77.1%	34	9.60%	354
(5)個別施策層向け情報提供	23	6.5%	301	85.0%	30	8.47%	354
(6)外国人へ通訳・翻訳の配慮	47	13.3%	279	78.8%	28	7.91%	354
(7)その他	5	1.4%					

\*実施内容について(5)(6)について、自由記載を例示(11p)

(7)その他の記載

成人式でのパンフレット配布等  
世界エイズデーキャンペーン  
問い合わせに対して情報を提供  
県内保健所で風俗営業店にパンフレット配布予定  
必要があれば外国人相談事業等活用できる

3. 医療の提供

1) HIV検査陽性者を、保健所から地域のエイズ治療拠点病院に紹介

はい		いいえ		経験なし		無記入		合計	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
124	35.5%	3	0.9%	226	64.8%	1	0.3%	354	100.0%

2) 歯科・精神科・産婦人科等の受診先が確保

はい		いいえ		経験なし		わからない		無記入		合計	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
73	20.6%	22	6.2%	230	65.0%	27	7.6%	2	0.56%	354	100.0%

上記で“はい”と回答した73保健所について

拠点病院内		病院間の紹介		その他		合計		*複数回答あり
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
66	90.4%	11	15.1%	3	4.1%	73	100%	

\*7保健所で、拠点病院でも病院間でも受診先確保の連携ができています。

3) HIV感染者・患者の在宅療養支援

はい		いいえ		経験なし		無記入		合計	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
43	12.1%	31	8.8%	276	78.0%	4	1.1%	354	100.0%

4) 保健医療と障害者施策等の福祉サービス

はい		いいえ		経験なし		無記入		合計	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
42	11.9%	26	7.3%	279	78.8%	7	2.0%	354	100.0%

5) 医療従事者に感染予防および事故時対策

はい		いいえ		無記入		合計	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
182	51.4%	159	44.9%	13	3.7%	354	100.0%

4. 関連機関等との連携の強化等

1) HIV対策と他の性感染症対策

はい		いいえ		無記入		合計	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
292	82.5%	56	15.8%	6	1.7%	354	100.0%

上記で“はい”と回答した292保健所について

検査や相談で同時		健康教育等で同時		イベント等で同時		施策立案時に連携		その他		合計		*複数回答あり
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
214	73.3%	228	78.1%	132	45.2%	66	22.6%	4	1.4%	292	100%	

2) HIVや性感染症対策に関して地域におけるネットワーク体制がある

はい		いいえ		無記入		合計	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
99	28.0%	246	69.5%	9	2.5%	354	100.0%

上記で“はい”と回答した99保健所について

A 参加団体

行政内部		医療機関		学校		NGO		その他		合計		*複数回答あり
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
51	51.5%	48	48.5%	61	61.6%	31	31.3%	20	20.2%	99	100%	

B 頻度

定例		随時		その他		合計	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
58	58.6%	30	30.3%	10	10.1%	99	100%

定例 58			随時 30		
年1回	2~5回	6回以上	年1回	2~5回	6回以上
28	26	4	3	5	5
回数記載なし 17					

3) NGOと連携している、または連携したことがある

はい		いいえ		無記入		合計	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
96	27.1%	241	68.1%	17	4.8%	354	100.0%

上記で“はい”と回答した96保健所について

複数回答あり

定例事業の委託		健康教育やイベント時		随時		その他		合計	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
18	18.8%	70	72.9%	22	22.9%	18	18.8%	96	100%

4) エイズ医療の推進

複数回答あり

患者・家族向け情報提供		患者・家族向け心のケア		外国人		個別施策層		合計	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
23	6.5%	18	5.1%	7	2.0%	9	2.5%	354	100.0%

①~④に○が1つもない保健所は318(回答数の89.8%)

5) 血液の安全を確保するため、献血時の注意

はい		いいえ		無記入		合計	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
25	7.1%	319	90.1%	10	2.8%	354	100.0%

5. 研究開発の推進

1) HIVや性感染症に関して調査研究に関わった

はい		いいえ		わからない		無記入		合計	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
43	12.1%	280	79.1%	28	7.9%	3	0.8%	354	100.0%

上記で“はい”の場合

組織として		職員の一部		その他		合計	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
33	76.74%	7	16.28%	3	6.98%	43	100%

\*厚生労働省科学研究とその他の複数回答が3件

自治体独自		地域保健総合推進事業		厚生労働省科学研究		その他		合計	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
9	20.9%	3	7.0%	23	53.5%	11	25.6%	43	100%

6. 人権の尊重

1) 貴保健所には、プライバシー保護のための相談窓口がある

はい		いいえ		無記入		合計	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
216	61.0%	134	37.9%	4	1.1%	354	100.0%

2) 人権教育など差別や偏見防止のための取り組みを行っている

はい		いいえ		無記入		合計	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
195	55.1%	158	44.6%	1	0.3%	354	100.0%

3) 雇用、就学、医療等での差別事例に具体策を行っている

はい		いいえ		経験なし		無記入		合計	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
10	2.8%	68	19.2%	274	77.4%	2	0.6%	354	100.0%

7. 保健所の機能強化について

1) 国への要望 自由記載(別紙)

2) 地域特性を踏まえた機能強化

(1) 貴保健所における機能強化の方針を設けていますか

はい		いいえ		無記入		合計	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
67	18.9%	272	76.8%	15	4.2%	354	100.0%

(2) 貴保健所の計画や具体目標を設けていますか

はい		いいえ		無記入		合計	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
109	31.2%	230	65.9%	15	4.3%	354	100.0%

(3) 保健福祉統合など組織変更による影響はありますか

はい		いいえ		無記入		合計	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
87	24.6%	239	67.5%	28	7.9%	354	100.0%

3) 健康日本21、子育てアクションプラン等にエイズ・性感染症が明記されていますか

はい		いいえ		無記入		合計	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
149	42.1%	172	48.6%	33	9.3%	354	100.0%

4) エイズ・性感染症に関して市町村支援をしていますか

はい		いいえ		業務外	無記入		合計		
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
116	32.8%	150	42.4%	74	20.9%	14	4.0%	354	100.0%

6) 貴保健所におけるエイズ・性感染症担当職員は何名ですか

	主担当	副担当	合計	主担当	副担当
1人	263	186	449	74.3%	52.5%
2人	49	65	114	13.8%	18.4%
3人	12	14	26	3.4%	4.0%
4人	7	9	16	2.0%	2.5%
5人	6	2	8	1.7%	0.6%
6人	1	4	5	0.3%	1.1%
7人	1	0	1	0.3%	0.0%
8人	0	1	1	0.0%	0.3%
11人	0	1	1	0.0%	0.3%
無記入	15	72	87	4.2%	20.3%
合計	354	354	708	100%	100%

7) 都道府県の予防計画について

(1) 都道府県予防計画は貴保健所におけるエイズ・性感染症対策立案の際参考となりますか

はい		いいえ		見ていない		無記入		合計	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
148	41.8%	99	28.0%	76	21.5%	31	8.8%	354	100.0%

(2) 予防計画ではエイズ・性感染症対策に関して数値目標を設けていますか

はい		いいえ		見ていない		無記入		合計	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
22	6.2%	220	62.1%	85	24.0%	27	7.6%	354	100.0%

\* 先駆的取り組みの例示などで、調査結果に貴保健所名を示してよろしいでしょうか

すべて可		先駆的取り組み可		個別問い合わせた上で		不可		無記入		合計	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
37	10.5%	3	0.8%	164	46.3%	64	18.1%	86	24.3%	354	100.0%

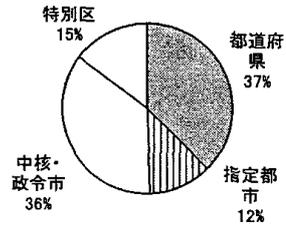
本庁用アンケートより

(\*指定都市・中核市・政令市・特別区は業務範囲の関係で保健所アンケートの回答内容も含めて集計)

\*回収率

	(保健所回答分を含む)					計
	都道府県	指定都市	中核・政令市	特別区		
回答数	41	13	39	16		109
対象数	47	13	44	23		127
回収率	87.2%	100.0%	88.6%	69.6%		85.8%

回答した自治体の内訳



1. 原因の究明について

1) 貴自治体内の昨年(2003年1~12月)のエイズHIV報告は・・・

	① 0件		② 1~5件		③ 6~10件		④ 11~20件		⑤ 21件以上		無記入		合計	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
都道府県	1	2.4%	19	46.3%	8	19.5%	7	17.1%	6	14.6%	0	0.0%	41	100%
指定都市	0	0.0%	3	23.1%	4	30.8%	3	23.1%	3	23.1%	0	0.0%	13	100%
中核市・政令市	13	33.3%	23	59.0%	2	5.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	39	100%
特別区	4	25.0%	4	25.0%	2	12.5%	1	6.3%	4	25.0%	1	6.3%	16	100%
計	18	16.5%	49	45.0%	16	14.7%	11	10.1%	13	11.9%	2	1.8%	109	100%

2) 3) 全数および定点報告の統計処理・分析

		している		していない		合計
		実数	%	実数	%	
都道府県	エイズ*	29	70.7%	12	29.3%	41(100%)
	性感染症	35	85.4%	6	14.6%	
指定都市	エイズ*	11	84.6%	2	15.4%	13(100%)
	性感染症	6	46.2%	7	53.8%	
中核市・政令市	エイズ*	21	51.8%	18	46.2%	39(100%)
	性感染症	24	61.5%	15	38.5%	
特別区	エイズ*	東京都全体で統計処理・分析				16
	性感染症					

\*集計・分析をしている項目について

	項目	性別		年齢階級別		経時的変化		個別施策履		その他		合計
		実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
都道府県	エイズ*	28	68.3%	28	68.3%	24	58.5%	15	36.6%	5	12.2%	41(100%)
	性感染症	27	65.9%	25	61.0%	23	56.1%	1	2.4%	3	7.3%	
指定都市	エイズ*	10	76.9%	10	76.9%	6	46.2%	4	30.1%	2	15.4%	13(100%)
	性感染症	6	46.2%	6	46.2%	3	23.1%	0	0.0%	0	0.0%	
中核市・政令市	エイズ*	21	53.8%	18	46.2%	5	12.2%	3	7.7%	1	2.6%	39(100%)
	性感染症	22	56.4%	21	53.8%	9	23.1%	1	2.6%	1	2.6%	
特別区	エイズ*											
	性感染症											

4) 定点医療機関の設定について

	配慮した		いいえ		無記入		合計	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
都道府県	23	56.1%	16	39.0%	2	4.9%	41	100.0%
指定都市	7	53.8%	3	23.1%	3	23.1%	13	100.0%
中核市・政令市	6	15.4%	6	15.4%	*27	69.2%	39	100.0%
特別区	東京都が設置							
計	36	33.0%	25	22.9%	32	29.4%	109	100.0%

\*配慮した項目

①設定基準の提示		②その他		計
実数	%	実数	%	
17	73.9%	6	26.1%	23(100%)
4	57.1%	3	42.9%	7(100%)
4	66.7%	2	33.3%	6(100%)

\*中核市・政令市は県の設置によるものが多く  
②その他については、医師会の推薦、地域の医療機関の偏りを考慮、衛生研究所や発生動向委員会の検討、県知事の設定など

5) 現在の性感染症定点のバランス

	よい		いいえ		わからない		無記入		合計	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
都道府県	16	39.0%	7	17.1%	18	43.9%	0	0.0%	41	100.0%
指定都市	4	30.8%	3	23.1%	4	30.8%	2	15.4%	13	100.0%
中核市・政令市	8	20.5%	13	33.3%	16	41.0%	2	5.1%	39	100.0%
特別区	3	18.8%	1	6.3%	11	68.8%	1	6.3%	16	100.0%
計	31	28.4%	24	22.0%	49	45.0%	5	4.6%	109	100.0%

6) 発生動向調査に加えた独自調査

	調査した		いいえ		合計	
	実数	%	実数	%	実数	%
都道府県	5	12.2%	36	87.8%	41	100.0%
指定都市	0	0.0%	13	100.0%	13	100.0%
中核市・政令市	1	2.6%	38	97.4%	39	100.0%
特別区	0	0.0%	16	100.0%	16	100.0%
計	6	5.5%	103	94.5%	109	100.0%

\*独自調査について(6自治体)

- エイズ
  - ・受検者対象の属性調査・意識調査(毎年)
  - ・市民一般検査希望等調査(実施した事あり)
- STD
  - ・H15~性感染症全数調査(毎年)
  - ・11~1月の全数調査(毎年)
- ・予防指針後の5年間で
  - ・一保健所管内の医療機関へ性感染症の全数調査(1回)
  - ・性感染症(4疾患)全数調査(2回)

7) サーベイランス結果の活用

	項目	活用している		いいえ		合計
		実数	%	実数	%	
都道府県	エイズ*	26	63.4%	15	36.6%	41(100%)
	性感染症	29	70.7%	12	29.3%	
指定都市	エイズ*	9	69.2%	4	30.8%	13(100%)
	性感染症	8	61.5%	5	38.5%	
中核市・政令市	エイズ*	34	87.2%	5	12.8%	39(100%)
	性感染症	35	89.7%	4	10.3%	
特別区	エイズ*	10	62.5%	6	37.5%	16(100%)
	性感染症	9	56.3%	7	43.8%	

2. 発生の予防および蔓延の防止について

1) 若年者や女性、個別施策層など実施している施策

	(1)学校への講師派遣		(2)指導者への研修		(3)ピア育成		(4)女性向け		(5)個別施策層向け		(6)外国人向け		(7)その他		計
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
都道府県	39	95.1%	29	70.7%	19	46.3%	10	24.4%	11	26.8%	15	36.6%	0	0.0%	41(100%)
指定都市	13	100.0%	6	46.2%	3	23.1%	4	30.8%	7	53.8%	8	61.5%	2	15.4%	13(100%)
中核市・政令市	36	92.3%	22	56.4%	8	20.5%	9	23.1%	8	20.5%	13	33.3%	0	0.0%	39(100%)
特別区	14	87.5%	8	50.0%	4	25.0%	3	18.8%	4	25.0%	3	18.8%	0	0.0%	16(100%)
計	102	94.4%	65	60.2%	34	31.5%	26	24.1%	30	27.8%	39	36.1%	2	1.9%	108(100%)

2) 保健所以外での検査

	実施している		いいえ		合計	
	実数	%	実数	%	実数	%
都道府県	9	22.0%	32	78.0%	41	100.0%
指定都市	8	61.5%	5	38.5%	13	100.0%
中核市・政令市	2	5.1%	37	94.9%	39	100.0%
特別区	0		東京都が設置している		16	100.0%
計	19					

\*実施ありの場合 (19自治体)

- (1)項目 HIV19、梅毒6、クラミジア7、淋病2、ウイルス性肝炎1
- (2)場所 繁華街(事務所借り上げ)7、土日常設3、イベント特設会場2、大学祭2、医療機関(拠点Hp)4、結核予防会診療所等1
- (3)日時 平日5、夜間10、土日8、特設2、イベント4(複数回答)
- (4)方法 迅速法5、従来法16、郵送法0、遺伝子検査2(複数回答)

3. 医療の提供

1) 診断・治療の指針の普及

	はい		いいえ		合計	
	実数	%	実数	%	実数	%
都道府県	15	36.6%	26	63.4%	41	100.0%
指定都市	2	15.4%	11	84.6%	13	100.0%
中核市・政令市		府県の役割			39	100.0%
特別区		東京都の役割			16	100.0%

\*「はい」の17自治体について

普及した内容	実数	%
①STD学会ガイドライン	5	29.4%
②エイズ学会ガイドライン	13	76.5%
③その他	1	5.9%

\*その他は厚生労働省通知の配布  
①②両者の配布は4自治体

2) 医療機関・医療従事者の情報交換や交流

	ある		いいえ		わからない		無記入		合計	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
都道府県	21	51.2%	4	9.8%	14	34.1%	2	4.9%	41	100.0%
指定都市	4	30.8%	6	46.2%	3	23.1%	0	0.0%	13	100.0%
中核市・政令市	4	10.3%	1	2.6%	6	15.4%	28	71.8%	39	100.0%
特別区	0	0.0%	東京都として、都医師会で検討委員会(月1)及び連絡会(年1)						16	100.0%
計(特別区を除く)	29	31.2%	11	11.8%	23	24.7%	30	32.3%	93	100.0%

3) 歯科・精神科・産婦人科等の他科受診確保

	はい		いいえ		経験なし		わからない		合計	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
都道府県	9	22.0%	7	17.1%	8	19.5%	17	41.5%	41	100.0%
指定都市	5	38.5%	3	23.1%	3	23.1%	2	15.4%	13	100.0%
中核市・政令市	12	30.8%	4	10.3%	20	51.3%	3	7.7%	39	100.0%
特別区	4	25.0%	1	6.3%	7	43.8%	4	25.0%	16	100.0%
計	30	27.5%	15	13.8%	38	34.9%	26	23.9%	109	100.0%

4. 関連機関との連携の強化等

1) HIV対策と他の性感染症対策の連携

	はい		いいえ		合計	
	実数	%	実数	%	実数	%
都道府県	35	85.4%	6	14.6%	41	100.0%
指定都市	11	84.6%	2	15.4%	13	100.0%
中核市・政令市	34	87.2%	5	12.8%	39	100.0%
特別区	15	93.8%	1	6.3%	16	100.0%
計	95	87.2%	14	12.8%	109	100.0%

2) 地域のネットワーク体制がある

	はい		いいえ		合計	
	実数	%	実数	%	実数	%
都道府県	19	46.3%	22	53.7%	41	100.0%
指定都市	8	61.5%	5	38.5%	13	100.0%
中核市・政令市	16	41.0%	23	59.0%	39	100.0%
特別区	4	25.0%	12	75.0%	16	100.0%
計	47	43.1%	62	56.9%	109	100.0%

3) NGOと連携している

	はい		いいえ		無記入		合計	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
都道府県	27	65.9%	13	31.7%	1	2.4%	41	100.0%
指定都市	11	84.6%	2	15.4%	0	0.0%	13	100.0%
中核市・政令市	19	48.7%	18	46.2%	2	5.1%	39	100.0%
特別区	10	62.5%	6	37.5%	0	0.0%	16	100.0%
計	67	61.5%	39	35.8%	3	2.8%	109	100.0%

4) 血液安全確保で日赤等と連携している

	はい		いいえ		合計	
	実数	%	実数	%	実数	%
都道府県	5	12.2%	36	87.8%	41	100.0%
指定都市	2	15.4%	11	84.6%	13	100.0%

中核市・政令市	2	5.1%	37	94.9%	39	100.0%
特別区	0	0.0%	16	100.0%	16	100.0%
計	9	8.3%	100	91.7%	109	100.0%

## 5. 研究開発の推進

### 1) 調査研究へのかかわり

	はい		いいえ		わからない		合計	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
都道府県	6	14.6%	27	65.9%	8	19.5%	41	100.0%
指定都市	2	15.4%	11	84.6%	0	0.0%	13	100.0%
中核市・政令市	8	20.5%	27	69.2%	4	10.3%	39	100.0%
特別区	1	6.3%	15	93.8%	0	0.0%	16	100.0%
計	17	15.6%	80	73.4%	12	11.0%	109	100.0%

## 6. 感染症部門の機能強化

### 1) 国への要望 自由記載(別紙)

### 2) 都道府県感染症予防計画について

#### (1) エイズ・性感染症対策立案の際参考となりますか

	はい		いいえ		無記入		合計	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
都道府県	22	53.7%	10	24.4%	9	22.0%	41	100.0%
指定都市	3	23.1%	8	61.5%	2	15.4%	13	100.0%
中核市・政令市	20	51.3%	9	23.1%	10	25.6%	39	100.0%
特別区	10	62.5%	0	0.0%	6	37.5%	16	100.0%
計	55	50.5%	27	24.8%	27	24.8%	109	100.0%

#### (2) 予防計画ではエイズ・性感染症対策に関して数値目標を設けていますか

	はい		いいえ		無記入		合計	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
都道府県	1	2.4%	36	87.8%	4	9.8%	41	100.0%
指定都市	0	0.0%	9	69.2%	4	30.8%	13	100.0%
中核市・政令市	3	7.7%	23	59.0%	13	33.3%	39	100.0%
特別区	0	0.0%	10	62.5%	6	37.5%	16	100.0%
計	4	3.7%	78	71.6%	27	24.8%	109	100.0%

### 3) 感染症部門の機能強化

#### (1) 具体的な計画がある

	はい		いいえ		無記入		合計	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
都道府県	3	7.3%	33	80.5%	5	12.2%	41	100.0%
指定都市	0	0.0%	13	100.0%	0	0.0%	13	100.0%
中核市・政令市	15	38.5%	22	56.4%	2	5.1%	39	100.0%
特別区	6	37.5%	8	50.0%	2	12.5%	16	100.0%
計	24	22.0%	76	69.7%	9	8.3%	109	100.0%

#### (2) 組織変更の影響

	はい		いいえ		無記入		合計	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
都道府県	6	14.6%	28	68.3%	7	17.1%	41	100.0%
指定都市	3	23.1%	8	61.5%	2	15.4%	13	100.0%
中核市・政令市	6	15.4%	29	74.4%	4	10.3%	39	100.0%
特別区	1	6.3%	12	75.0%	3	18.8%	16	100.0%
計	16	14.7%	77	70.6%	16	14.7%	109	100.0%

### 4) 自由意見

別紙 自由記載

#### \* 先駆的取り組みの例示などで、調査結果に貴保健所名を示してよろしいでしょうか

	すべて可		先駆的取り組み可		個別問い合わせた上で		不可		無記入		合計	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
都道府県	5	12.2%	2	4.9%	27	65.9%	2	4.9%	5	12.2%	41	100.0%
指定都市	3	23.1%	0	0.0%	9	69.2%	1	7.7%	0	0.0%	13	100.0%
中核市・政令市	8	20.5%	0	0.0%	23	59.0%	3	7.7%	5	12.8%	39	100.0%
特別区	1	6.3%	0	0.0%	11	68.8%	0	0.0%	4	25.0%	16	100.0%
計	17	15.6%	2	1.8%	70	64.2%	6	5.5%	14	12.8%	109	100.0%

発送数: 全国の衛生研究所 75か所

	発送数	回答数	率	有効回答数	率	
地方感染症情報センター	41	30	0.73	28	0.68	
地方感染症情報センターでない	18	10	0.56	8	0.44	以下、36件についての集計結果
計	75	46	0.61	36	回答数の78%	有効回答率=48% (36/75)

(うち10か所は、「業務なし」の回答)

1. 原因の究明について

1) 貴自治体内の昨年(2003年1~12月)のエイズHIV報告は...

① 0件		② 1~5件		③ 6~10件		④ 11~20件		⑤ 21件以上		無記入		計	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
0	0.0%	17	47.2%	7	19.4%	2	5.6%	9	25.0%	1	2.8%	36	100.0%

2).3) 全数および定点報告の統計処理・分析

	している		していない		合計
	実数	%	実数	%	
エイズ*	25	69.4%	11	30.6%	36(100%)
性感染症	32	88.9%	4	11.1%	

4) 定点医療機関の設定について

配慮した		いいえ		無記入		合計	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
11	30.6%	13	36.1%	12	33.3%	36	100.0%

5) 現在の性感染症定点のバランス

よい		いいえ		わからない		無記入		合計	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
5	13.9%	11	30.6%	14	38.9%	6	16.7%	36	100.0%

6) 発生動向調査に加えた独自調査

はい		いいえ		無記入		合計	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
3	8.3%	29	80.6%	4	11.1%	36	100.0%

独自調査をした研究所の内容

- ・一般市民のクラミジア・トラコモナス等実態調査 (1993年)
- ・保健所におけるHIV抗体検査受検者の動向 (検査項目の変化に伴う変動)
- ・医療機関におけるHIV定点検査(毎年)

7) サーベイランス結果の活用

活用している		いいえ		無記入		合計	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
19	52.8%	12	33.3%	5	13.9%	36	100.0%

活用方法

	①自治体内で報告		②外部へ報告		その他		合計	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
エイズ*	9	47.4%	8	42.1%	4	21.5%	19	100.0%
性感染症	11	57.9%	8	42.1%	5	26.3%		

5. 研究開発の推進

1) 調査研究への関わり

はい		いいえ		合計	
実数	%	実数	%	実数	%
13	36.1%	23	63.9%	36	100.0%

6. 感染症部門の機能強化

1) 国への要望 自由記載(別紙)

2) 都道府県感染症予防計画について

(1) エイズ・性感染症対策立案の際参考となりますか

はい		いいえ		無記入		合計	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
13	36.1%	8	22.2%	15	41.7%	36	100.0%

(2) 予防計画ではエイズ・性感染症対策に関して数値目標を設けていますか

はい		いいえ		無記入		合計	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
0	0.0%	22	61.1%	14	38.9%	36	100.0%

3) 感染症部門の機能強化

(1) 具体的な計画がある

はい		いいえ		無記入		合計	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
3	8.3%	21	58.3%	12	33.3%	36	100.0%

(2) 組織変更の影響

はい		いいえ		無記入		合計	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
6	16.7%	17	47.2%	13	36.1%	36	100.0%

\* 先駆的取り組みの例示などで、調査結果に貴保健所名を示してよろしいでしょうか

すべて可		先駆的取り組み可		個別問い合わせた上で		不可		無記入		合計	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
3	8.3%	0	0.0%	16	44.4%	2	5.6%	15	41.7%	36	100.0%